

丹波縄文の森塾 活動報告



令和6年9月23日（月） 晴／雨

ドングリ拾い



栗拾い



稲刈り



稲木かけ



夏休み明け初めての縄文の森塾。きょうは、栗・ドングリ拾い、稲刈りなどを体験しました。全国的に今年のドングリは大凶作とニュースでも報道されているように、丹波の森公苑のドングリも例年に比べかなり少ない状態でした。角谷森づくり活動アドバイザーと共に、苑内を散策しながらドングリ探しと栗拾いをしました。

ドングリと言っても、いろいろな種類があります。シラカシ、アラカシ、ウバメガシ、マテバシイ、スタジイなど常緑樹のドングリ。コナラ、クヌギ、クリなど落葉樹のドングリ。苑内でいろいろな形のドングリを集めました。

昼食は、「ふっくらふんわり サツマイモごはん」と「きのこたっぷり豚汁」。秋の季節を感じることのできるメニューでもおいしくいただきました。また、サポーターからいただいたサツマイモも焼き芋にいただきました。



午前中に予定していた「ゆで栗」作りは突然の雨で午後に変更。マッチを擦って火をつけ、ゆで栗が出来上がるのを楽しみにしながら、稲刈りのために田んぼへ向かいました。

杉本指導員から鎌を使って稲を刈る方法や注意点を聞いて、さっそく稲刈り開始。慣れないうちは恐る恐る鎌を使っていましたが、慣れてくるとだんだん楽しくなってきました、あっという間に全部刈り取りました。稲を刈る、束ねて結ぶ、リヤカーで運ぶ。それぞれの役割を協力しながら交互に体験しました。



刈り取った稲は、天日干しをするために稲木にかけていきました。次回の縄文の森塾では脱穀をして、12月にはそのお米を使って餅つきの予定です。きょう一日、秋の実りを実感し、楽しむことができました。